

粘着性

Tackiness

粘着性とは、粘着面が持つ「ベタツキ」を示す。

また粘着性は、被着体に接触したときの「付着性」（くっつきやすさ）の指標になるため、「初期接着性」または「初期タック」とも表現する。

一般的にベタツキが強い粘着テープは強接着力と誤解されるが、接着力は※「他の要素」によって強弱が左右されるため、ベタツキの強弱と接着力の強弱は単純に比例しない。

※「他の要素」は接着力の項目を参照

試験方法（J-Dow 氏法）

鋼球を 1.0 インチから 1/32 インチまで 1/32 インチ刻みで用意し、下図に示す如く 30° の傾斜台に長さ 10 cm、幅は任意幅で切断した試験片を貼り付け、試験片上端 10 cm の位置から鋼球を滑走させ、試験片上の 10 cm 以内で停止する鋼球の最大直径値を測定する。

測定値は鋼球の番号 (No.) で呼称し、1/32 インチの場合「No.1」 32/32 インチの場合は「No.32」のように分子数で表示する。

この試験方法は「鋼球 (Ball)」を転がすことから、「転球法」や「ボールタック」とも言われる。

